

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームエルムの家 (こもれび)	評価実施年月日	平成19年6月28日
評価実施構成員氏名	善田純子、上野智子、山口美枝子、小熊友花、皆川和之、三浦裕子、能代谷智枝子		
記録者氏名	善田純子	記録年月日	平成19年6月28日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>誰にでも理解しやすい具体的な内容にしてあり、利用者や御家族も目に触れやすいようリビングに掲示し、職員休憩室やミーティングルームにも掲示する事で常に意識できるような努めています。</p>		<p>2ヶ月に一度推進会議を開催しています 町内会及び地域への密着もかね、地区センターと利用し交流を深めるようにつとめています</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念が日々の実践と結びつき具体的な内容になるよう朝の申し送り、臨時及び定期的なファレンスを開催し取り組んでいます。理念は常に目につくような場所に掲示しているのにも気をつけています</p>		<p>利用者一人一人を常に尊重している 自由に発言できる環境がある</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>定期的に運営会議(家族会)を開催し町内会長さんにも参加頂き、理解して頂けるよう取り組み、時には町内の回覧板にも掲載して頂いています</p>		<p>家族会では着りと関しての指針についても説明し文章もお渡ししています 今後も地域の方々の積極的に参加を呼びかけたい、利用者さんも参加して頂いて、今後出展していきたい</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>町内会にも入会し町内清掃にも参加している。 夏のエルム祭も事前に回覧板に掲載して頂き交流を持つようつとめています。散歩中にお花もつけて下さる方や、後で庭に突たぶどうも持って訪ねて下さる方もいらっしゃいます。</p>		<p>エルム祭では、エルム内も開放し、散歩なども事前にお知らせし気軽に参加して頂いています。 散歩の時などは、こちらから、あいさつやお話しを促して頂いております。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>エルム祭でのホーム開放や行事の時も回覧もお願ひし年々参加者が多くなっている、清掃活動にも参加。 町内エミなるり等利用者みなさんに参加</p>		<p>受け身にならず、こちらから声を掛け気軽に立ち寄って頂けるよう常に笑顔で近隣の近所と接するようにしています。</p>
<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>近隣の病院に利用者さんの作品を展示依頼があり参加しています。お老しよりが道とまがねに来る事も多くゆくりお話しも聞き行き先を探してあげています</p>		<p>利用者さん手作りの雑巾を町内会へ寄布して行きたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価、外部評価は評価が出た時点より全階回覧とし改善すべき点がある場合すみやかに話し合いの場を持ち改善に取り組んでいる。</p>		<p>具体的に改善すべき点がある場合すみやかに対応している。</p>
<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>2カ月に一度本社にて運営推進会議を行い、町内会長、入居者さん、入居者さん家族、ワーカーが参加し意見交換を行っている。</p>		<p>利用者さんにも積極的に参加して頂き、意見を取り入れている。</p>
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>西区の管理者会議出席、ホーム長職員参加し指導を受けている。</p>		<p>常に連携がとれる体制である。</p>
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度の活用を支援している。</p>		<p>勉強会に機会があれば積極的に参加する。</p>
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>ニュースや新聞の報道などについて話題にし防止関連について学ぶ機会を設けている。</p>		<p>現在当ホームではありません</p>
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご家族との話し合いの場を持ち十分な説明を行っている。</p>		<p>契約時は書類等読み上げ理解をして頂いている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄奥にアンケートBOXも設置したり、利用者さん全員とホーム長、職員参加での話し合いの場ももっている。 苦情相談の連絡先を明記したポスターを張っている (ホーム外の窓口)</p>		<p>現在苦情はなく直接意見等を聞き理解して頂いている</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月、各居室担当直より家族の方へ手紙を出し、近況報告をしている。気になる事や、急な時は、電話にて相談、報告も受けています</p>		<p>毎月の手紙での様子を知らずで安心して頂いている。</p>
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>御家族の方とお会いした時や電話連絡の時には、不満や苦情、苦情に対する事等を話題に扱って、カンファレンスの開催時に伝え検討しながら実施している</p>		<p>何かあった場合は前向きに受け対応させて頂いています</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>本社での全体会議ともって意見交換をしている それぞれの意見を出し検討し実施している</p>		<p>ホーム長、事務長と意見交換し改善が可能な実施している</p>
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>柔軟に対応出来る様、全フロア勤務調整を行い連携を取り合い協力もしています ボランティア参加の調整も行っています</p>		<p>全フロア勤務調整スムーズに実施 事務長、ホーム長も勤務実施</p>
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>移動は少数とし職員は日常から他階の利用者さんと交流を持つようにしている為、ダメージが軽減していると思えます。</p>		<p>移動が決定した時点で、各フロア勤務者と少しづつ交代して行く事で、利用者さんに不安をあたえないよう務めています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
<p>19 ○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>機会ごとに石井修会へ参加を促し出席している。</p>	○	<p>これからは、ホーム独自の教育カリキュラムを組み実施して行く。</p>
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>取組んでいる。</p>		<p>同区内のグループホーム空き状況の報告、入居者さんの紹介、勉強会を実施している。</p>
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>その都度、職員の相談受け付けなど対応している。</p>		<p>食事会、カラオケ等リフレッシュする機会を設けている。</p>
<p>22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>	<p>勉強会などを開き、各自向上心を持っている。</p>		<p>スキルアップのための時間、協力対策がとれている。 (本人の希望によって)</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
<p>23 ○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>本人が入居に至るまで十分に話し合い、区の担当者や相談し進めている。本人の希望を取り入れる対策を取っている。</p>		<p>本人がしたい事、したくない事を引き出す機会を作っている。</p>
<p>24 ○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族との意見交換の場を作り、要望をのびす事なく聞く。</p>		<p>話しやすい環境づくり</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>その都度、ホーム長、事務長、ママネや一時的に臨時スタッフに依頼したり、ホーム長、利用者ご家族参加して丁寧な話し合いの場をもち、協力を得るようプロも身体で本人は対応して支援している</p>		<p>利用者ご家族はもちろんです中心にはありますが、御家族の精神的安定、安心をも含め相談、対応もしています</p>
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>利用者ご家族参加での話し合いを行っている為、家庭的な雰囲気での馴染みながらのサービス提供が実現しやすい。家族の訪問も多く近況報告もしている為、理解も得られている。</p>		<p>一対一でのコミュニケーションを大切にしたい、何をしたいのか考えるよでの参事にもしています</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>さりげない介護でプライド、誇りを傷つけないよう、本人が思っている現実に合わせて支援を行っている。個々の得意分野を生かした生活も提供する事で互いに支え合った生活もしています</p>		<p>利用者ご家族の支え合いができています。家族的な雰囲気でも職員も利用者ご家族に教えて頂く事も多い。</p>
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>各居室担当者や御家族のコミュニケーションが取れている為、確認し合いながらの対応方針で良い関係を築く事ができていると思っています</p>		<p>御家族と話し合い同じ目線で物事を考えより良い方向への介護支援をしている。御家族の辛い心情も察してその旨受け入れている</p>
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>家族関係のトラブル等の相談を受け協力、解消に務めている。行事にも参加頂き、今の利用者ご家族を認め理解して頂ける場を提供しながらフォローしています</p>		<p>入居前よりコミュニケーションがある事でより良い関係と なっています</p>
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>御家族が泊ったり、お友達も道志にいられています。電話も自由に掛ける事ができ、耳の遠い方は職員が変り代わりかけています</p>		<p>お手紙や電話等を職員の方からも声掛けし連絡が途切れないようにしています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	仲のよい関係づくりを、セリげなく支援している。		フランコなどゲームへの参加お誘い。リビングにて全員そろっての食事等。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	法要の時お花を届ける。退所後も、イルム祭への参加お誘い。		左に同じ
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	好きな事が出来る時間を工夫している。食事も入居者さんが希望する場合はそれに答える。		1人1人マイペースに生活できる様支援していく。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	左シート、私の情報シート作成 本人との日常会話の中で引き出し書き込み 職員全員が知っている。家族との情報も書き込んでいく		個人ファイルを作成し分かりやすくしている。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	入居後も見守りの中でリズムをつかむ様にしたり 入居時には、家族より聞き取りを行っている。		現状を把握できる様な記録がある。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	月に1度ケース会議をし、情報を共有し、ケアプランも全員知っている。ケアマネジャーだけでなく「全員で」考へる。計画作成時は家族との話し合いを設けている。		チームで介護計画についての話し合いの場実施

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	御家族に介護計画の意味を説明し本人の現状に即した計画のため意見も頂き、カンファレンス時介護支援専門員の監理のもと職員の見解も採り入れ、本人が望む計画も承諾を得て作成し期間に応じた見直しもしています		毎月カンファレンスにて再検討している 状況が変化ある場合、家族の方にも相談の上、見直しもしています
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎月、ケアプランのまとめも作成し、各担当者は日常の様子や気づきを記入し、本人の意見を求めた上でカンファレンス時には活発な意見交換が行われる会議の記録もあるため、情報も共有し実施している		個々の体調観察の上、順次対応している 体温調整などの工夫(足浴、ホットパック、マッサージ等)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	年末の年取りに家族の方がホームに来られ皆さんと共に過ごされています 病院の通院 入院送迎支援 体調の悪化、家族の方の介護と病院の紹介 終末期の入院の回避 検査、薬物管理等		御家族の方、泊られた時には皆さんと食事を 提供しています 御家族の要望にて亡くなった時に、通夜告別式を ホーム内で対応しました。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察への協力依頼もしています 消防署とは、防火 訓練を通じて、つながりが出来ている 地区センターとの協力も頂いています		地区センターとの交流も深まり(社交ダンスサークル) 研修等に参加するようになってます
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	本人の希望も聞いた上で必要に応じた対応ができています 病院のケアワーカー、ケアマネジャーとの交流もある 通院		デイサービス(病院内)も活用しています ホーム内でデイサービスも対応しています
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>43 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>週回の往診、看護師の配置、本人に納得して頂けるよう薬の説明等を行っている。</p>		<p>薬剤師の講義を聞く機会を設ける。(月に1度行っている。)</p> <p>薬に依存しない薬に方向づける。</p>
<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>44 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>各専門医の協力を頂き治療を受けている。</p>		<p>定期的に健康診断(脳の検査)の実施。</p>
<p>○看護職との協働</p> <p>45 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護師を採用している。</p>		<p>日々看護師に相談し体調管理を行っている。</p>
<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>46 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院した際、こまめに見舞に行き医者看護師との情報交換、早期退院に努める。</p>		<p>相談できる体制を確保したい。(家族、病院)</p>
<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>47 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>本人との会話の中でさりげなく(口11かけ、本人の意向にそって)している。最後の場所など、ホーム21の希望がある場合、医師、家族との連携を重視している。</p>		<p>社会あるごとに職員同士話し合いをし看取っている。</p>
<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>48 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>職員同士、家族と話し合いの場を設けている。本人の思いに添ったものとほめる様子を努力している。医師の協力も得ている。万が一の場合を想定し、全員周知させている。タニシ日記をつけている。</p>		<p>心のこもった、心のこもった終末期とみる様に職員一丸と取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>御本人、家族関係者、ホーム長・事務長、各ワーカー職員と話し合いの場を持ち、情報も共有する事でスムーズに実施している</p>		<p>別の居宅へ移り住んだ方から連絡もあり、遠かにいらしたり、職員が、ホームでの生活での写真と持ちし面会に行ったりしています</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>職員一人ひとりが言葉使いや表情に充分注意し個人情報を持ち出す事なく外部に漏洩しないよう充分注意をしています</p>		<p>申し送り等丁寧な対応 居室で個別にお話し対応し、他の方に聞かさないようにしています</p>
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ゆっくり、じっくり話す場を確保しその場に合った声掛けを行い、忍耐強く個性かけたり見守りながら自己決定の場を増えるよう支援しています</p>		<p>耳の聞こえが悪い方には筆談も実施している 居室での個別対応も実施しています</p>
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>御本人の希望やペースを尊重し出来る限りの希望にそっての支援をしている</p>		<p>外出や、畑仕事、ぬり絵、パズル、運動等それぞれペースで取り組んでいます マウナーと飾</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>御家族へも声掛けを目的の理美容院の利用を支援しています。個々に自分らしい服装を楽しませ身だしなみを整っている</p>		<p>ネイルアートや化粧、好みの衣服も選んで着用している ホーム内に理美容師も来られています</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>慢性疾患を持つ方も多いため健康状態に合わせて対応し臨機応変にメニュー変更もしている 可能な場合にはお手伝いして頂いています 好みの物を聞き提供している</p>		<p>おかわりに参加して頂いたり、アトリエもして下さりお食器拭きや、洗剤のお手伝いもして下さっています 畑でとった野菜と見て頂きその日の食卓にもえています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	利用者さんの体調を観察し、Drとも連携しながら、一人々の状況に合わせた対応をしている。		Fica、Drにも理解を頂き、喫煙を自由に なっている方もいます。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターンを把握できるよう、時間帯の記入を行い、声掛け、誘導も、エリカさん、ご本人が傷つかわずに気持ちよく排泄できるよう支援しています。		個々の排泄パターンにより対応している。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	利用者さんとコミュニケーションを取りながら、楽しく個々の希望に応えるように対応させて頂いています。		本人の希望や、体調により、その都度対応 している。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	利用者さん個々の行動は自由を尊ぶ個室でゆったりとした時間を過ごされています。灯りの強弱や音の大きさなどにも気を付けています。		居室やバット回りの清潔を保つように 心がけている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	何をしたいのかを個別にうかがったり、Ficaに生活歴を聞き、今後に活かせるように書き止めておく。		・日々の生活でのお手伝いをして頂いている。 ・畑仕事が好きの方は、苗えや種から選んで 思いの手紙にさせて頂いています。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・個々に お金の管理をしている。 ・買い物へ、少人数で行く支援をしている。		自分のサイフから お金を出し、支取う事の 大切さを感じて頂けるよう支援している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○日常的な外出支援</p> <p>61 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>買い物、散歩等、希望にできる限りそった対応をしています</p> <p>天候不良、体調不良など、どうしても外出できない時は、テラスか対応しています</p>		<p>毎日のように畑仕事をしています</p> <p>近所の薬局へ消耗品を買いに行っています</p> <p>散歩がてらスーパーに行き食品を選んで頂いています</p>
<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>62 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>カンファレンス時に計画を検討し実施するようになっている</p> <p>ホム長、職員、利用者さんと話し合う時間を持っている為、それぞれ希望した場所に行けるよう支援している</p>		<p>ドライブや、紅葉狩り、山菜取り、おしゃべりをして、ホテルバイキング等へ外出しています</p>
<p>○電話や手紙の支援</p> <p>63 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話は自由に使用する事ができる</p> <p>居室へ電話を付けている方もいる</p>		<p>手紙は住所確認の上提出している</p> <p>ハガキや手紙を書く提案もさせて頂き声掛けをしています</p>
<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>64 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>御家族やお客様の訪問の際には明るくお迎えしお茶をお出ししている</p> <p>台所の机にはお茶とお湯を用意しており自由に利用する事ができる、利用者さんと一緒に食事をしたり宿泊する事も可能である</p>		<p>御家族の方へ宿泊させている。</p> <p>一緒にお食事したり、居室でお友達や御家族と水入らおの時間を過ごさせている</p>
(4)安心と安全を支える支援			
<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>65 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>契約書にも記載しており、実際に拘束は行っていない</p>		<p>拘束の介護をしないよう常日頃から職員同士で話し合い対応しています</p>
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>AM 7:00 ~ 17:00 まで開放</p> <p>PM 17:00 ~ 7:00 まで施錠</p>		<p>施錠時間も短縮し改善をはかった。</p> <p>日中は自由に出入りできる事ができる</p> <p>職員は利用者さんの情報を把握しており安全に努めている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>67 ○利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>常に所在や安全を確認しながらも、プライバシーをしっかりと守るべく、目くぼりも行っている。</p>		<p>小まめな巡回(定期以外にも)</p>
<p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>缶、小ガミ等の危険な物は、使い終わるたびに安全な保管場所へ戻しているが、他は、一般家庭とほぼ同じ状態での生活を心がけている。</p>		<p>必要に応じ管理法等明確に取り決め実施している。</p>
<p>69 ○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>事故を未然に防ぐ為、個々の状態を把握し、職員同志の情報も共有しながら、事故防止に取り組んでいる。</p>		<p>とっ時の時のマニュアルがある。</p>
<p>70 ○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>緊急時の対応マニュアルを作成している。管理者、ホーム長との連絡が24時間可能である。</p>	○	<p>今後、救急救命の講習には積極的に参加したい。</p>
<p>71 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>避難訓練の実施 運営推進会議の場でも協力を求めた。</p>	○	<p>年に2回 防火避難訓練を実施。</p>
<p>72 ○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。</p>	<p>リスクを最小限にとどめる様に職員に徹底している。 家族とは、常話し合いの場を設けている。</p>		<p>生活の防げにならない様に見守りを行う。注意を促す</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	状況観察に付いて、職員同士の情報交換しながら対応している。定期往診日に医師に相談をし、指示通り実施、家族対応で受診できない時はホーム対応しています		夜間は他階の職員とも連絡を取り合い、特に協力し合っている。ホーム長とも24時間連絡が取れるようになっているが、指示を受けた時、ホーム長が来て対応する事もある
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個々の温度板に薬表を付けており、全ての職員がいつでも見られるようになっている。変更時必ずチェックして変化に十分注意し、記金取、申し送りを実施している。各居室担当者は特にしっかりとした情報と他の職員へ伝達するよう心がけています		錠剤が服用しなくなった時は粉末依頼を行い対応している。飲み込みの悪い方は、ゼリーやドロミを服用するなど工夫している
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排便につながる食材を取り入れ野菜中心の食事作りを中心に固々の排便チェックをしている。バイク運動もできるよう、見守りできる所に設置している		ホットパックや、腹音マッサージ薬を変更して頂きたい事など医師へ依頼し改善されています 毎日体操を実施
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	口腔ケアは毎食後、声掛け一部及び全介助にて実施 定期的に歯科往診にて実施 義歯の手入れも支援している		変化のある時は、定期往診以外でもすぐ連絡を取り往診頂いています 1週に1度、義歯洗浄剤を使用しています (歯科医師指導による)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1日の水分量や栄養のバランスに配慮しており、体重増加や 血圧のチェックをしている		個々に応じて粥、常食、キチンと対応し、水分不足にて不足分は声掛けさせて頂いています 量や内容も持病により変えて対応しています
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。	マニュアルを作成し感染症に対する予防や対応について話し合っている 手洗いの励行には特に留意している 面会者に対してドアホに入れられる前に手の消毒をして頂くよう設置している インフルエンザ予防接種も実施している		床、手すり、トイレなど、アルコールにて消毒し、うがい薬設置、個々にグローブ設置して対応しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>79 ○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>調理用具及び台所廻りなど、アルコール消毒</p>		<p>生魚などは、特に新鮮文に注意し購入している。 グローブの使用。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>清潔を心掛け、花壇の手入れにも力を入れている。 玄関の施錠をせず、開放している。</p>		<p>左に同じく対応</p>
<p>81 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに、ディスプレイを変化させている。</p>		<p>利用者さんの意見を取り入れて居心地良く過ごせるよう工夫をしている。</p>
<p>82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個室であり、リビングにおいては、利用者の意見を参考に配置している為、皆さんが過ごしやすい空間のようです。</p>		<p>ソファやベットもあり体調により使用している</p>
<p>83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>皆さん使い慣れた家具などを持ってきて頂き、新しい物より使い慣れた物を勧めています。</p>		<p>利用者さんの居心地を重視して配置している</p>
<p>84 ○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>定期的に行っている</p>		<p>・スドも開けている。 ・利用者さんの状況により対応している</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>利用者ごとの状況に応じて環境整備に気を付け 事故のないよう安全に活動出来るようなスペースを作っている</p>		<p>食事の時、人ごとの多い方は、気が引けず、食事が楽しめるよう、テーブルセティングをしています。 車椅子の方が多い場、自分で外を見ることが出来るよう家具の配置にも気を付けています</p>
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室には、分りやすく見やすいように名称を張っている。 テーブル移動時など慣れるまで名前も付けている</p>		<p>食事の席の変更が必要な時などは、利用者ごとの意見を聞き行い、利用者ご自身がおぼつかない時に混乱しないようお膳などにも名前を付けている</p>
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関前には花壇があり、好きな花を買って来て植えたり、うちで野菜作りをしている。 バルコニーには椅子を置き自由に出入り出来る人にする事もできる</p>		<p>自由に畑仕事が出来ようになっている。 花壇の横はバーベキューなども楽しんでいます</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くない
98	職員は、生き生きと働いている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

家族的な係わりが利用者さんや、その御家族と築かれて来ている様に感じています。利用者さんがおそくなりになった時には、相談に応じたり、ホーム内での通夜、告別式など取り行っている。希望に応じて看取り介護も実施しています。空室になってもすぐに入居させずに、利用者さんへ配慮し、おそくなりになった時は49日か遅れてからとし皆さんに安心感をあたえられていると思います。